

アポロ地形図を用いた月面の起伏の統計的解析

Statistic analysis of lunar topography by Apollo topographic maps

横田 康弘 [1]; 春山 純一 [2]; 大竹 真紀子 [3]; 本田 親寿 [1]; 諸田 智克 [4]

Yasuhiro Yokota[1]; Jun'ichi Haruyama[2]; Makiko Ohtake[3]; Chikatoshi Honda[1]; Tomokatsu Morota[4]

[1] 宇宙研; [2] JAXA/宇宙研; [3] ISAS/JAXA; [4] 宇宙研

[1] ISAS; [2] ISAS/JAXA; [3] ISAS/JAXA; [4] JAXA/ISAS

月面の起伏には過去の衝突の履歴が反映されていることから、これまで、月面年代推定法としてある領域内に存在するクレーターの個数を用いたクレーター年代学がよく知られてきた。一方、デジタル地形モデルが得られれば、起伏・斜度の統計的解析から履歴に関する情報を得ることも考えられる。このような目的のために我々は、簡便にアポロ地形図をデジタル化する手法の検討をおこなっている。本講演ではデジタル化した地形図を用いて、kmスケールでみた月面の標高差変化について、月高地の地域間で比較した結果を報告する予定である。